

# 全国に誇れる葛巻の価値を再認識し 持続可能な町づくりへ

平成二十二年度の町政の方向を決める町議会三月定例会は、三月四日から十二日まで開かれました。議会初日の四日、鈴木重男町長はまちづくりの重要施策について、町総合計画の体系ごとに力強く施政方針を述べました。（内容は要約しています。全文は町のホームページをご覧ください。）

高齢者福祉 高齢者が安心して暮らすことができるための支援を充実します。介護保険事業 総合的な相談体制と歯つらつ栄養教室などの介護予防教室の充実など、各種介護予防を推進します。障がい者福祉 障がいのある人もない人も共に暮らし、ともに活動できる社会を実現するため、施策の一層の充実を図ります。



平成22年度  
施政方針

# 新たな出発！



3月、卒業式を終え、新たな人生へ出発する葛巻高生

## 第1 健康で快適に暮らせるまちづくり

**健康づくりの推進** 「自分の健康は、自分でつくる」との意識の高揚を図るため、地域担当制による家庭訪問指導の充実をはじめ、特定健診、特定保健指導などを行います。また、自殺防止対策は最重要の課題と考え、新たに「こころの健康づくり推進事業」を実施します。  
**病院経営** 地域医療を支える中核病院として、町民から信頼される安心安全な医療の確保に努めます。医師の確保についても、引き続き全力を傾注します。  
**国民健康保険事業** 保険税の収納率向上など財政基盤の安定と各種給付事業の円滑な実施に努めます。

子育て支援環境の充実 乳児保育、延長保育、一時保育及び放課後児童保育の充実など子育て支援策を一層推進します。

**保育園** 新年度から教育委員会が所管します。葛巻保育園は、「保育所型認定こども園」として幼稚園機能を備えた幼保一体施設、葛巻保育園以外にも、保育に欠けない児童の受け入れを実施します。併せて保育料の見直しを行います。新設される「子ども手当」は、速やかに制度の周知を図り、事務を進めます。

**下水道事業** 新規に「高齢者世帯等水洗化普及支援事業」で高齢者世帯、障がい者世帯をはじめ要支援世帯を対象に

水洗化に要する経費の一部に対し補助金を交付します。

## 第2 地域で支え合うまちづくり

**消防防災** 消防団への青年層の積極的な加入促進に取り組めます。また、宝くじ助成を受けて、新町地区の自主防災組織が行う防災関係備品整備事業に対し助成します。  
**消防・防災施設の整備** 第二分団消防ポンプ自動車と第六分団小型消防動力ポンプを更新します。第十二分団消防ポンプ積載車は国から貸付交付の

予定です。また、洪水時に土のうの代わりとなる止水シートを各中隊ごとに配備します。

**防犯・交通安全** 引き続き交通事故防止の活動を推進するとともに、防犯指導隊、防犯協会など関係団体と連携し、

地域を挙げて安全で安心なまちづくりに努めます。  
**消費者行政** 盛岡地区広域八市町村が連携して「盛岡広域消費生活センター」として共同実施します。

## 第3 環境を守り育てるまちづくり

**一般廃棄物処理** ごみの減量化は、老朽化している焼却施設の延命化にも直結する重要な課題です。自治会等と連携を図りながら積極的に対策を講じます。  
**地域エネルギーの活用** 国では、人・金物・エネルギーの動きを変革する「緑の分権改革」構想を新年度から具体的に進めることとしております。本町のエネルギー政策の新たな展開に結びつくものと考えており、この動きを注視し、事業採択に向けて積極的に取り組まします。

## 第4 資源を活かした産業を推進するまちづくり

**農業全般** 経営感覚に優れた農業経営体や担い手農家を育成するとともに、低コストな生産構造への転換と総合的な技術・経営支援の強化を図ります。  
**農地** 担い手への面的集積を促進し、耕作放棄地の発生防止と解消に向けた農地パトリールの強化を通じて、その重要性について啓発活動を実施します。

**園芸の振興** 多様化する販売

対策と消費者に期待される産地化を推進するために、「いわて希望農業担い手応援事業」と「葛巻型農業構築支援事業」を実施します。

**水田営農** 戸別所得補償制度が創設されることから、本町においてもそのモデル対策である「水田利活用自給力向上事業」と「米戸別所得補償モデル事業」を推進し、水稲の生産調整や調整水田等不作地の最大限に活用した飼料作物の生産拡大を支援します。  
**畜産振興** 本年度、「酪農・肉用牛生産近代化計画」の抜本的な見直しを行います。

**乳用牛対策**では、デントコーン種子助成事業を引き続き実施するとともに、新たに自給粗飼料生産拡大モデル事業、削減費助成事業、乳用牛導入事業を実施します。  
**肉用牛対策**では、町内の繁殖雌牛「一千頭達成」の目標実現に向けて、引き続き黒毛和種増頭対策助成事業を実施します。

くずまき高原牧場に整備を進めている「農業体験交流施設」では、町ホスルティン共

## 町村合併55周年 新たな出発の年に

鈴木重男 町長



昨年の葛巻高校郷土芸能部の全国高校文化祭出場、商工会青年部のふるさとCM大賞受賞、また去る1月には、吉ヶ沢小学校の「子どもファームネット大賞」、3月には小屋瀬少年消防クラブが、消防庁長官から優良な少年消防クラブとして全国表彰されました。厳しい社会経済状況の中で、葛巻町のこれからの担う若い力が、次々とその強い絆を生かした行動で、葛巻を思う一体感の醸成など将来への希望を町民に抱かせてくれています。

私は「夢しか実現するものはない」と言い続けておりますが、こうした人材を輩出する力を持つ我が町の人々が、力を合わせて町づくりに取り組むならば、夢を叶え、「住み続けたいと思える町」、「誇りを持てる町」、そして「町民が生涯現役でいられる町」、そういう町づくりが実現できるものと確信しております。

本年は、我が町が「町村合併55周年」を迎える記念すべき年です。本年が、我々にとって、町の歴史を振り返り、「先人のたゆまぬ努力」に改めて敬意と感謝をささげる機会となり、全国に誇れる葛巻の価値を再認識し、さらには持続可能な町づくりの新たな出発（たびだち）の年となるよう心から願うものであります。

町長就任から2年半となりましたが、初心を忘れることなく、町勢発展のためしっかりと行動していかねばと、決意を新たにいたしましたところであり、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。